（仮称）新図書館等複合施設活用アクションプラン（案）

～共創による施設活用と中心拠点の活力向上を目指して～

すべてはその手から
SDGs 未来都市 妙高

令和７年（2025年）　月

新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ

目次

1 アクションプランの位置づけ・施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

（1）アクションプランの趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（2）アクションプランの体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
（3）新図書館等複合施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

2 私たちの施設活用計画（アクションプラン）・・・・・・・・・・・・・11

（1）アクションプランが目指す姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（2）アクションプランの推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（3）アクションプランを進める実施主体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（4）アクションプランのテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

3 わたしたちの提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

■ 資料編・・・23

■新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ記録（全5回）
■新図書館等複合施設の活用に関するアンケート集計
■高校生・若者の居場所づくりに関するシールアンケート実施報告
■施設図面

1 アクションプランの位置づけ・施設概要

（1）アクションプランの趣旨

令和7年秋に、（仮称）新図書館等複合施設が開館します。

これまで施設整備にあたっては、平成29年に市民、市民団体、有識者などを構成員とする新たな図書館整備に向けた検討会を立ち上げ、「妙高市図書館のあり方に関する報告書」をまとめ、以降、令和元年に「妙高市図書館整備基本構想」、令和2年に「妙高市立地適正化計画」、令和3年に「妙高市立地適正化計画」に基づき、図書館に加え、子育てや市民交流などの複数の機能をあわせもつ「新図書館等複合施設整備計画」を策定するなど、広く市民等のご意見をいただきながら進められてきました。

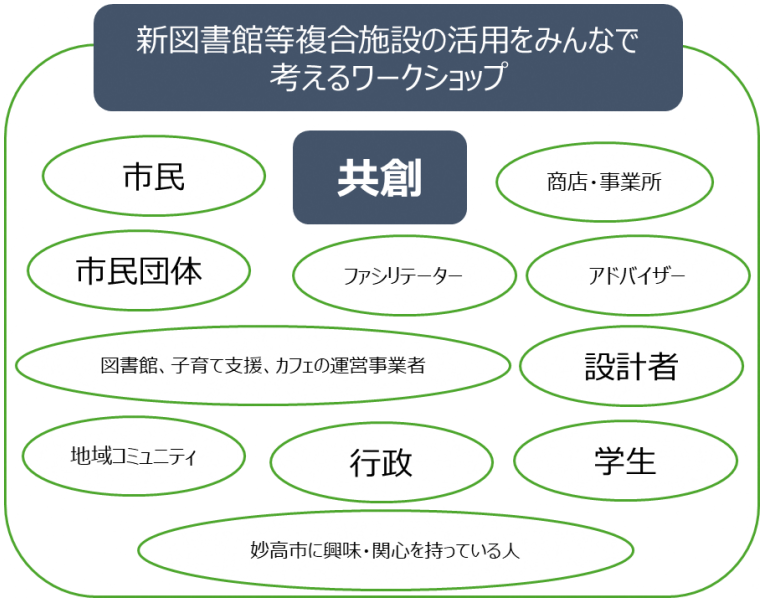
基本構想や整備計画の中で、新施設は、情報の集積基地として市民の役に立つ「知の拠点」、市民の主体的な学習活動を支え、豊かな人間性を育む「生涯学習の拠点」、あらゆる世代の市民が集い、人がつながり、地域に活力をもたらす「交流拠点」を目指すことを基本理念に掲げています。さらには、複合施設として「子育て支援」の機能も併せて整備することにより、新施設を拠点に、「暮らしやすさの向上」や、「中心拠点の活力向上」にも寄与することを基本的な考え方とされています。

これらの目標を実現するためには、行政だけでなく、市民、コミュニティ、事業者、学生などの多様な主体が連携し、「やってみよう」「あったらいいね」を楽しみながら共に創り上げていく「共創」による施設活用と運営が必要となります。

このため、開館後の新施設の活用に向けては、誰でも参加できるワークショップ等を令和6年から開催し、「新施設でやってみたいこと」や「子育て支援と子ども」、「さまざまな学びと交流」、「まちの賑わい」などをテーマに、みんなで意見やアイディアを出し合い、アクションプランとしてまとめました。

このアクションプランは、
市民等の多様な主体が連携し、「やってみよう」「あったらいいね」を共に楽しみながら創り上げていく「共創」によって、施設を育て、まちに賑わいを生み出すためのアクションプランです。

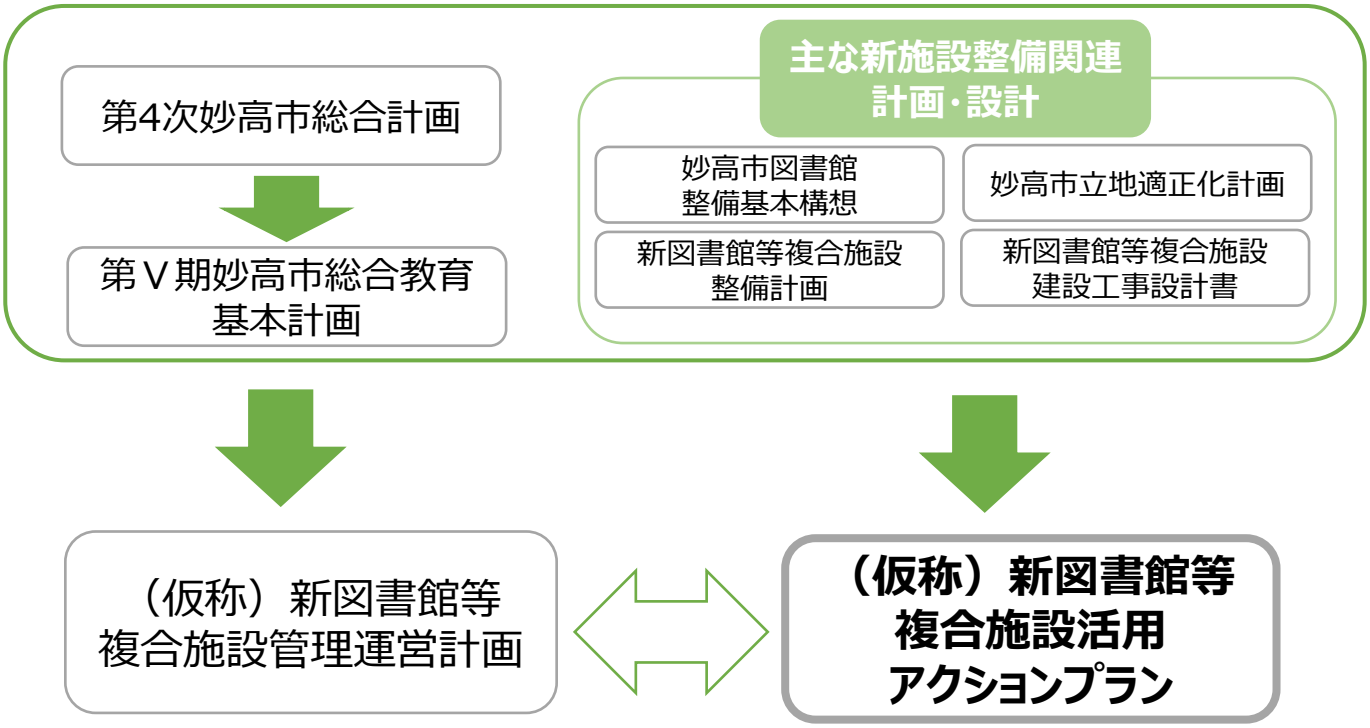
新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ等での対話をもとに、市民などの共創による「アクションプラン」として策定



▲市民ワークショップ（全5回）等で意見・アイディアを出し合い、検討しました。

（2）アクションプランの体系

アクションプランの上位計画・関連計画



アクションプランの更新について

アクションプランの内容は、みんなで共に創り上げる「共創」という考え方のもと、施設開館後も市民をはじめ関係者などとの対話を継続しながら、運営や事業推進の中で見えてくる課題や新たなニーズへの対応に加え、新たな可能性やアイディアなどを取り入れながら更新することを基本とし、より良いアクションプランへと進化を続けます。

そのため計画期間は設定しませんが、アクションプランの進捗状況の目安とする「成果指標」については、妙高市の上位計画や関連計画と同じく令和7年度から令和11年度までの5年間で設定しています。

（3）新図書館等複合施設の概要

新図書館等複合施設は、図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能、市民交流機能などで構成されており、これまで個別の施設で行われていた活動を複合化・融合化することで、新たな活動や交流を促進し、中心拠点の活力向上を目指します。

▲施設外観

設計コンセプト	人と情報（本）と居場所をつなぐ
所在地	妙高市朝日町一丁目他地内
敷地面積	4,319㎡
延床面積	2,884㎡（建築面積：1,082㎡）
主な機能	図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能、市民交流機能

施設構成

３Ｆ　知の拠点

階段とカウンターの周りを書架が囲み、その周りを書棚が取り囲む配置になっています。目的の本や場所にスムーズにアクセスできる動線を確保。純粋に本と向き合うことができる心地よい空間を演出しています。そして、妙高の山々が望める大きな開口部が特徴的です。

【主な機能】

図書館サービスカウンター、一般開架、読書室など

２Ｆ　創造の場

学習スペース・内覧スペース・市民活動スペースが一体となっています。スタッフ室からは全体の活動を見渡せ、レファレンスサービスの効率を上げる設計になっています。フロア全体が居場所と本が融合した共有スペース。さまざまな学習や多様な図書館活動の場となります。「人・本・居場所をつなぐ」が特に体現されているフロアです。

【主な機能】

共有スペース、市民活動室、ボランティアルーム、学習スペースなど

１Ｆ　子育て・みんなの広場

エントランスや多目的ルーム、子育て支援機能などが連続する設計になっています。多目的ルームは、イベント利用のほか、日常時は会議や打ち合わせなどの利用も可能。広いエントランスにカフェを設け、くつろいで雑誌などの読書ができるほか、南側の明るい場所には、プレイルームを配置します。

【主な機能】

エントランス（交流スペース）、多目的ルーム、子育て一時預かり室、プレイルーム、カフェ、予約本コーナーなど

新図書館等複合施設の基本方針

新図書館等複合施設整備計画（令和3年3月）

■都市機能の集積と暮らしやすさの向上

持続可能な都市（コンパクト・プラス・ネットワーク）を生み出す上で重要な役割を果たすのが、都市機能の集約と再編です。特に妙高市においては、単なる施設機能の複合化にとどめず、中心拠点の既存機能の見直しによる公共機能（都市機能）の再編と、社会的な変化に応じた新たな機能との「融合」が都市機能を集積する上で重要なテーマとなります。

また、将来の大きな社会情勢の変化に対して、利用者ニーズに柔軟に対応するためには、機能ごとに完結するのではなく、「機能融合」を図ることが重要となります。

このような視点から、新図書館を核として子育て支援や生涯学習をはじめとした様々な融合によって、市民サービス全体の質と日々の暮らしやすさを向上させることにより、移住・定住の促進や交流人口、関係人口の増加に波及する効果が期待できます。

■中心拠点の活力向上

中心拠点における新図書館を核とした複合施設は、図書館のもつ高い集客力やリピーター特性から、利用者同士の直接的・間接的な交流の促進とにぎわい創出に大きく寄与するものであり、中心拠点の「活力向上」につながるものです。

また、新図書館を核とした複合施設においては、知の拠点である図書館が様々な資料を収集し保存、提供することにより、利用者がこれら資料を通して、学びや活動を自ら発信する機会を生み出すことができ、それがまちづくりの重要な活力として機能する効果が期待できます。

図書館整備基本構想（令和元年8月）

■知の拠点

（情報の集積基地として、市民の役に立つ「知の拠点」）

図書館は、各種社会教育施設の中で、最も利用率の高い施設と言われており、様々な目的を持った方が訪れます。読書や調べもの、自己啓発や課題解決など、それぞれの利用目的に応じて、欲しい情報が最適な手段で入手できる環境を整えるとともに、多種多様な図書や情報の収集・充実を図ります。

また、インターネットの普及やICTの進展を踏まえ、積極的にそれらを活用し、利用者ニーズへの対応と利便性の向上を図ります。

さらに、年齢や地域などに関わらず、市民が等しく図書館を利用できるよう、妙高高原図書室、妙高図書室の充実をはじめ、身近な場所で図書館サービスを受けることができる仕組みづくりを進め、すべての市民の役に立つ図書館を目指します。

【機能とサービスの方針】

①多種多様で豊富な資料の収集・保存

②すべての市民のための資料提供サービス

閲覧・貸出サービス、レファレンスサービス、ICTの活用による情報提供サービス、乳幼児・児童サービス、ヤングアダルトサービス、高齢者・障がい者サービス、多文化・多言語サービス

③市内全域で誰もが利用可能なサービスの提供

■ 生涯学習拠点

（市民の主体的な学習活動を支え、豊かな人間性を育む「生涯学習拠点」）

子どもや親子が快適に過ごせる利用環境を整えるとともに、学校等との連携・交流を促進し、本や読書を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力を育みます。

また、後世に伝えるべき妙高市の豊かな自然環境や、特色ある歴史文化、芸術に関する資料の収集・保管・活用に努め、郷土への愛着や学びを深める機会を提供します。

図書館が持つ豊富な情報提供機能を十分に発揮し、子どもから高齢者まで、市民が主体的に行う生涯学習活動や課題解決に取り組む市民を後押しするとともに、それら学習や活動の成果を発信し、来館者・利用者が共有できる機会を創出します。

【機能とサービスの方針】

①豊かな心を育む子どもの読書環境の充実
②学びと課題解決を支援するサービスの充実
③歴史・文化や地域資源に関する情報発信

■ 交流拠点

（あらゆる世代の市民が集い、人がつながり、地域に活力をもたらす「交流拠点」）

人と本、人と情報を結ぶ拠点として、生涯学習やまちづくりに関わる情報を収集・発信し、市民の学びを支援するとともに、それらの学びの機会を通して人と人がつながり、図書館で得た学びを活かし、さらなる地域課題の解決やまちづくり活動が展開されることにより、地域の活力を生み出すことができる図書館を目指します。

そのためにも、より多くの市民が図書館での滞在を楽しみ、豊かな時間を過ごせる居心地の良い空間づくりに取り組みます。

また、図書館が持つ集客力や情報基地としての機能を活かしながら、他の公共施設や関係団体の活動と積極的に連携し、相互の活性化を図ります。

【機能とサービスの方針】

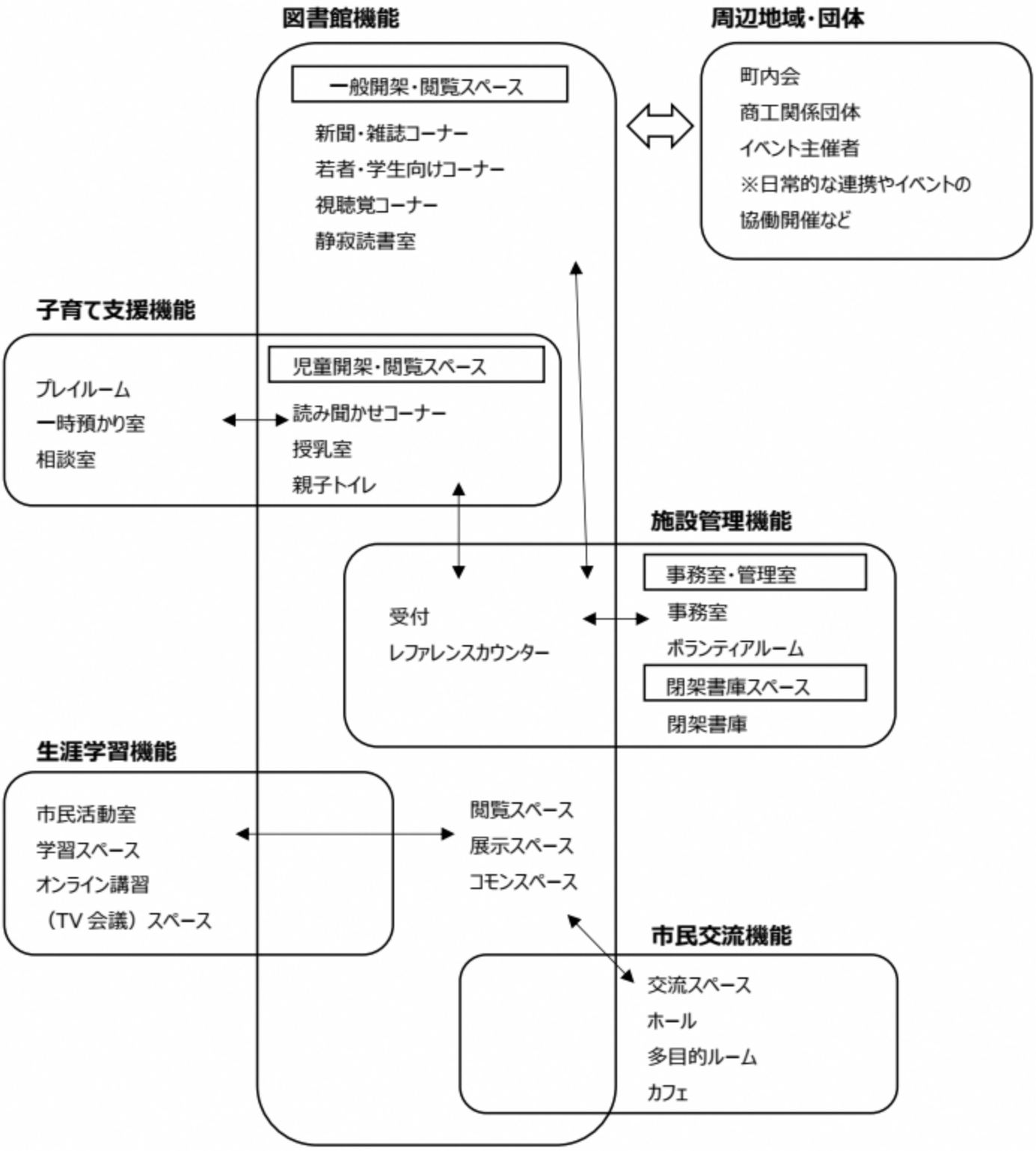
①市民のつながり・交流の促進
②市民の憩いの場の提供
③まちの活力と賑わいづくりへの支援

施設の各機能

機　能	分野別事業	事業内容	主な事業案
図書館	図書貸出し・情報提供事業	ニーズに応える図書館	■市民ニーズに応える魅力ある蔵書の管理
			■質問や要望に的確に応えるレファレンスサービスの提供
			■学校、社会教育・文化施設等、他機関と連携した事業の展開
	環境整備事業	誰もが利用しやすい環境整備	■多様な世代や障がいの有無に関わらず利用しやすい施設整備
	読書普及事業	図書館を核とした読書の普及	■子どもの発達段階にあわせた読書普及
			■学校図書館と連携した読書普及
			■読み聞かせイベントの実施
			■電子書籍サービスの提供
子育て支援	子育て支援事業	子育て広場の運営	■育児不安等についての相談及び支援、子育て講座及び講演会の開催、子育て情報の提供、子育てサークル等の育成及び支援、広場開放
		ファミリー・サポート・センター事業の運営	■会員の募集及び登録、相互援助活動の調整、必要な講習の実施、会員相互の交流の場づくり
		一時預かり	■保護者不在時の未就園児の一時預かり
生涯学習	生涯学習推進事業	学習機会の提供	■生涯学習講座などの開催
		自主活動への支援	■市民や団体等の自主活動の充実に向けた支援の実施
市民交流	市民交流推進事業	市民活動支援	■貸室等の提供、活動発表や情報発信などでの交流スペースの活用
		市民交流支援	■交流スペース等の提供、カフェによる飲食の提供

各機能の連携イメージ

施設を構成する機能間及び周辺地域・団体との連携・融合イメージは、次のとおりです。



事業計画

事業計画の基本方針

新図書館等複合施設は、図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能、市民交流機能などで構成されており、これまで個別に行われていた活動を複合化・融合化することで、新たな活動や交流を促進します。

これを実現させるためにも、各機能が持つ特徴や強みを活かし、相互連携や補完をしあいながら事業を展開していきます。

全館の事業計画

- 図書館機能、子育て支援機能、生涯学習機能、市民交流機能が連携した事業展開を図ります。
- 市と各機能や業務の受託事業者、関係者などが情報の共有と共通認識を持ち、密接な連携を図りながら施設の管理運営を行います。
- 施設の活用に向けて、令和6年度に実施した市民ワークショップの意見等も参考とし、各機能融合型のイベントを実施し、施設全体で一体感のある事業展開を図ります。
- 屋外広場を活用し、各機能及び受託事業者、近隣の住民や各種団体などと連携したイベントを展開します。
- 火災や地震など、不測の事態が発生した際に施設利用者の安全が確保されるよう、マニュアルの整備や定期的な訓練を実施します。

図書館の事業計画

- 当市の知の拠点として、書籍等の整備、提供、整理にとどまらず、情報や知的好奇心の入り口となる図書館として、レファレンスサービスや多くの情報媒体へのアクセスを充実させます。
- 誰にとっても利用しやすく、居心地のよい図書館を目指します。
- 資料の充実、リクエストによる書籍の更新、利用状況に応じた図書整備を行い、利用者の求める資料を確実に提供できる体制を目指します。
- 地域の情報や歴史など、郷土の情報を提供します。
- 読み聞かせ会やミニシアターなどを実施し、子どもが読書に興味を持つきっかけづくりや、想像力を育むとともに、学校図書館との連携により子どもの読書活動を推進します。

子育て支援機能の事業計画

- 「子育て広場」を運営し、育児不安等についての相談及び支援、子育て講座及び講演会の開催、子育て情報の提供、子育てサークル等の育成及び支援などを行います。
- 「ファミリー・サポート・センター事業」を運営し、会員の募集及び登録、相互援助活動の調整、必要な講習の実施、会員相互の交流の場づくりなどを行います。
- 急な用事や育児の心身のリフレッシュのため、保護者不在時の「未就園児の一時預かり」を行います。
- 図書館における児童開架と連携した絵本などの配置、読み聞かせイベントの実施など、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けることができるよう取り組みます。
- 家族で気軽に利用でき、利用者同士が交流や相談できる場を提供します。

生涯学習機能の事業計画

- 生涯学習の拠点として、市民活動室、学習スペースの活用を推進し、市民の生涯にわたる主体的・自発的な学びを支援します。
- オンライン開催の講演会や研修会に参加できるよう、オンライン講習（TV会議）スペースを設け、学習の充実を図ります。
- 各種講座の開催、図書館における講座に関連する書籍コーナーの設置など、施設全体を活用した学びを展開します。
- 生涯学習の充実や学びがより深いものとなるよう、図書館のレファレンスサービスと連携した取り組みを展開します。
- コモンスペース（共用部分）などにおいて、学びの成果をPRすることで、学習の拡大や波及を図ります。

市民交流機能の事業計画

- 交流の拠点として、用途の自由度が高い交流スペース、ホールや多目的ルームの利用を促進し、多世代交流や中心市街地と市民の接点づくりを推進します。
- 情報発信の強化や交流のきっかけをつくるため、施設入口付近の注目を集めやすい交流スペースやホールを活用した展示やイベントを開催します。
- 施設利用者の拡大と満足度の向上を図るため、交流スペースやホールにおいて、図書館やカフェとも連携し、雑誌・新聞の閲覧や飲食ができる、くつろぎの場を提供します。
- 屋根付き広場を活用し、市民同士の交流の促進を図るため、屋外での市民参加型イベントを開催します。
- カフェにおいて、飲食を提供するほか、物販などにより地元企業や地元産品の販売や紹介を行います。

施設内の機能との連携による事業計画

- 図書館、子育て支援、市民交流機能など関係団体等と連携し、施設への来訪促進や魅力の向上に向けた取り組みを展開します。
- 読書週間やクリスマスなど季節にあわせたイベントを企画・開催します。
- 各機能が有する得意分野を活かし、施設を利用してみたい、行ってみたいと思えるような、創意と工夫を凝らしたイベントを開催します。

周辺地域及び関係団体との連携による事業計画

- 周辺の商店や関係者、えちごトキめき鉄道などと連携し、まちなかの回遊、賑わいや交流の創出に向けた取り組みを展開します。
- 六十朝市をはじめ、地域や関係団体等が実施するイベントと連携した事業を展開します。
- 周辺商店や商工業関係団体と連携し、地元企業や商品、特産品のPRにつながるイベントを開催します。

2 私たちの施設活用計画（アクションプラン）

（1）アクションプランが目指す姿

市民ワークショップ等で出された施設活用に向けたアイディアや意見をもとに、具体的に事業化されていくことで、新施設と中心拠点をはじめとしたまちの未来が次のような姿になることを目指します。

暮らしやすさの向上

- みんなが集い、自己実現に向けた効果的な施設利用をしている
- 安心して、思い思いの活動を楽しんでいる
- 暮らしや仕事などの多様な課題の解決や、新たな価値の創造に挑戦している
- 伝えたい情報の発信や欲しい情報の収集をしている
- 学びあえ、交流しあえる機会を共有している

- 市民が主体的にさまざまな企画や事業推進の場づくりに参加・参画している
- 行政と市民をはじめ、関係団体が共に連携・協力しあって事業を展開している

- 施設と施設の持つ複合機能と、地域や事業者、団体の人々の心と心がつながっている
- 施設利用者がまちなかに足をのばし、まちなかの来訪者が施設を利用している
- 施設と周辺地域の協働で、市民が楽しめる活動をしている
- 一人一人の欲しいモノやヒト、コトがそこにある

中心拠点の活力向上

（2）アクションプランの推進に向けて

アクションプランを推進するための場づくり

共創による施設活用と中心拠点の活力向上に向けて、次のような機会や場づくりを提言します。

共創の活動を生み出す対話の場づくり

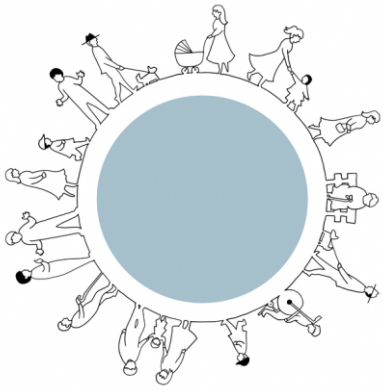
■アクションプランに掲げているアイディアや取組みの実現に向けて、市民や関係団体、行政、施設に関わる事業者等が、継続的に検討・協議し、具体的に取組みを進めていくための場づくりが必要です。

- そこでは、市民ニーズや事業効果、アイディアの実現可能性などの協議の中で、より具体的な取組みや、事業の進め方、実施主体などを検討していきます。
- 今回のアクションプランは不変のものではありません。開館後やアクションプランに掲げる事業を行う中で見えてくる課題や新たな可能性についてみんなで考え、プランの見直しをしていきます。

サポーターの確保とネットワークづくり

■施設やそれぞれの機能や事業を支え、アクションプランに掲げる取組みの主体や応援団となるサポーターの確保とネットワークづくりが必要です。

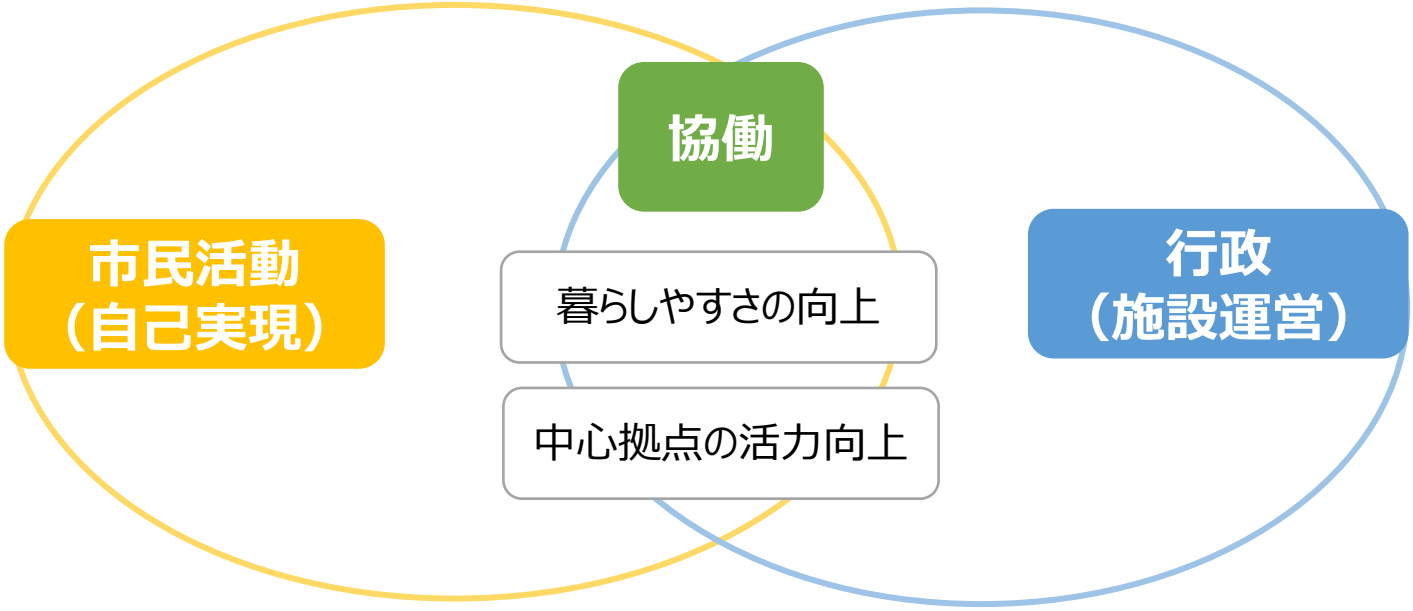
- 蔵書整理や読み聞かせ、子育ての悩み相談、市民活動のアドバイスなど、多様なサポーターが、施設や機能、市民と関わっていきます。
- それぞれの機能のサポーター同士が交流し、協力、連携しあえるネットワークづくりを進めていきます。



（3）アクションプランを進める実施主体

アクションプランについて、次のとおり事業の実施主体を整理しました。
①市民主体の活動　②市民と行政の協働事業　③行政の事業

①市民主体の活動	●施設、機能を活用した自己実現の活動 ●施設や機能を活かし、やりたいことを自ら企画し、仲間や参加者が集い、実現していく活動
②市民と行政の協働事業	●市民や団体が多くの市民と共に「やりたい」活動を行政がサポートする活動 （場の提供・スタッフ支援・プログラムの企画への支援・広報協力など） ●施設と中心拠点の活性化に向けて、市民と行政が共に企画し、実行する協働事業 （フェス・マルシェ、講演会をはじめとしたイベントなど）
③行政の事業	●施設の適正管理と適切な運営による利用環境の提供 ●施設と各機能を活かした利用者へのサービスの提供と充実



（4）アクションプランのテーマ

アクションプランのテーマは「新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ」のテーマと対応しています。

この「新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ」では
①子育て支援と子ども　②さまざまな学びと交流　③まちの賑わいをテーマに、参加者がアイディアや意見を出し合い、ディスカッションしてきました。

テーマ① 子育て支援と子ども

■講師予定としていた伊藤明美氏（（福）芳雄会図書顧問・司書）の資料提供

■小田垣宏和氏（図書館パートナーズ）による墨田区ひきふね図書館パートナーズの事例紹介

■グループワーク（サブテーマごとに付箋を使ったアイデア出しと整理）
Aグループ「子どもをひきつける施設とは？そのために私たちができること」
企画提案１：子どもをひきつけるためのイベント開発
企画提案２：誰でも来れる図書館を目指して
Bグループ「多くの子ども達に本に親しんでもらうためには？」
企画提案１　本をつくろう！！
企画提案２　本の帯づくり
企画提案３　みんなが選ぶ好きな本ランキング
企画提案４　子ども参加イベント（みんな集まれ）
Cグループ「子育て家族に楽しんでもらうには」
企画提案１　居ごごちの良い図書館、飛び出す図書館
企画提案２　市民のアイデアで楽しい企画づくり
企画提案３　本の消毒器の導入
Dグループ「中高生世代をひきつけるためには」
企画提案１　市役所・民間を含めた総力戦
企画提案２　キャリア教育の場としての活用

テーマ② さまざまな学びと交流

■講師　井上康志氏（都城市立図書館長）からの事例紹介

■グループワーク（ペルソナシートを活用した企画シートづくり）
「はね馬アリーナサークルとの連携」
「ぷらっと体力チェック」
「ふらっと行って、何かを見つけられる場所」
「イベントを中心とした市民が集まれる機会の提供」
「小・中・高校生　みんなの居場所」
「みんなでおいしく健康になろう」
「妙高の「ニワ」づくり　市民のにわづくり」
「あなたの新しい一歩を後押しする○○講座集」
「だれでも図書館」
「高齢者も利用することができる図書館」
「キッズアクションプロジェクト」
「みんなが「あらい～わ」な図書館」
「新図書館ツアーガイド」
「新図書館でダンス大会をしよう！！」
「バイト　副業　ボランティア　仕事紹介」
「フリースクール設置」
「高校生女子が喜ぶ図書館」
「子育てしながらスキルを磨くパワーアップ企画」
「やりたい事って何？」
「子育てママさん応援企画」
「“リッチ“タクシーネットワーク」
「こだわり料理の試食会」
「高校生向け　先生に怒られない化粧講座」

テーマ③ まちの賑わい

■講師　岡崎正信氏（株式会社オガール代表取締役）からの事例紹介

■グループワーク（サブテーマごとにマンダラートを活用した企画づくり）

Aグループ「新施設と仕事や商売につなぐしかけを作ろう」

①朝市への誘導
②あらいまつりの活性化
③新しい商売を試す場所
④情報発信
⑤近隣商店の広告誘導
⑥イベント
⑦商店スタンプラリー
⑧職業体験

Bグループ「わくわくを体験でき人々が回遊するまちをつくろう」

①（妙高市の）宝物
②市民参加
③イベント・フェス
④若者
⑤インバウンド
⑥組織
⑦交流
⑧回遊

Cグループ「多世代がつながるまちをつくろう」

①妙高市らしさ
②人の育成
③妙高市民の心
④イベント企画
⑤ウォーキングポイント
⑥物でつながる人の輪
⑦花だん　草取り
⑧思いやり

Dグループ「世界から人を呼びあつめよう」

①インバウンド
②海外（移住）
③宿場町
④市民市場（六十朝市）
⑤温泉街
⑥エリアの魅力UP
⑦川と水　道とくらし

【テーマ１】子育て支援と子ども

ワークショップでの意見に基づくアクションプラン

- 読書活動に限らず、子どもをはじめ、ママ、パパや学生まで、みんなが楽しめる居場所づくりを進めます。
- 子どもたちや学生の学びや成長を支援します。
- 子どもたちのやりたいこと、体験したいことを実現します。
- 子育てするママ、パパを応援し、つながりをつくります。

成果指標

項目	現況値（令和5年度実績）	目標値（令和11年度）
この地域で子育てをしていきたいと思っている人の割合（３歳児健診アンケート回答割合）	98.4%	100%
子育て支援の来館者数	2,636人	3,400人

ジャンル	具体的提案　※ワークショップ等で提案のあった主な取組例	実施主体		
		市民	協働	行政
読書活動	読書通帳の導入			○
	絵本や紙芝居の読み聞かせ	○	○	○
	絵本のストーリーを実体験できるイベント	○	○	○
	おすすめ本ランキング		○	○
教育支援	子どもたち・中高生世代の学習支援	○	○	○
	読書活動や総合学習などにおける学校との連携企画	○	○	○
	キャリア教育に関わるイベントや展示	○	○	○
	園や学校への出張イベント		○	○
趣味・関心に応じた活動・体験	物語の世界などに入ったような体験ができる写真撮影会、仮想現実（VR）体験会		○	○
	アートや工作、自分の本づくりと展示	○	○	
	児童や中高生のニーズに応じた講座・体験会（化粧講座やファッションショーなど）		○	○
	マンガやボードゲームの収集・提供	○	○	○
子育て支援	おもちゃ病院の開院	○	○	
	ママ友・パパ友とつながる交流イベント	○	○	○
	カフェでのアレルギー対応メニューや離乳食の提供		○	○
	給食体験会			○

【テーマ２】さまざまな学びと交流

ワークショップでの意見に基づくアクションプラン

- 図書のもつ情報の活用と読書の効果を広めます。
- 講演会や学習会、イベントを開催し、市民に学びを提供します。
- 心と体の健康づくりに寄与します。
- 市民の発表の場と交流の場づくりを進めます。

成果指標

項目	現況値（令和5年度実績）	目標値（令和11年度）
市民一人あたりの年間貸出図書数	2.8冊	6.0冊
生涯学習講座受講者数（生涯学習講座「まなびの杜」等の年間受講者数）	294人	350人
地域活動人材制度活用件数（地域活動人材制度の学校や地域に等における年間活用件数）	1,140件	1,360件

ジャンル	具体的提案　※ワークショップ等で提案のあった主な取組例	実施主体		
		市民	協働	行政
読書活動	読書会、朗読会、朗読劇	○	○	○
	古本市や本の譲渡会	○	○	
	本を紹介するPOPや本づくり	○	○	○
	本を共有する棚をつくる「まちライブラリー」や本の交換イベント		○	
	録音図書などの体験会		○	○
	電子図書の導入			○
学び	講演会・トークショーのイベント	○	○	○
	カフェのメニューづくりイベント		○	○
	SNSの活用やインスタ映えする空間づくりなど		○	
	スマートフォンなどの使い方教室	○	○	○
	起業や就職・復職などキャリアプランに関するイベント・セミナー	○	○	○
	新施設ツアー（施設見学、探検イベント、ナイトツアーなど）		○	
	郷土の歴史や文化、映像、写真などの記録保存（アーカイブ）	○	○	○
健康づくり	体力チェックや健康レシピ募集などの健康企画	○	○	○
	音楽やスポーツ、ゲームなどのイベント	○	○	○
交流	いろんな人（いろいろな年齢・世代、市内外など）との交流会	○	○	○
	趣味やサークル活動の展示・発表	○	○	
	映画・動画上映会		○	○

【テーマ３】まちの賑わい

ワークショップでの意見に基づくアクションプラン

- 施設周辺地域の人々と連携し、まちなかの賑わいに結びつけます。
- 施設周辺の資源の活用や情報発信により、まちなかの魅力や関心を高めます。
- 市内のさまざまな施設や団体などと連携した事業を推進します。
- 施設の有する資源を活用し、賑わいと地域の活性化を図ります。

成果指標

項目	現況値（令和5年度実績）	目標値（令和11年度）
新図書館等複合施設の年間来館者数	64,576人	84,000人
新たに民間企業・高等教育機関等と連携して創出されたプロジェクト数	0件	10件

ジャンル	具体的提案　※ワークショップ等で提案のあった主な取組例	実施主体		
		市民	協働	行政
まちの賑わい	「六十朝市」「うまいもんまつり」等との連携企画		○	
	来館者へのポイントカード発行や施設内外のスタンプラリー		○	○
	施設からの散歩コースや謎解きゲーム、イルミネーションなど、施設周辺もまわりたくなる企画		○	
	お祭り、マルシェ（朝市や夕市など）の開催		○	
	施設周辺での出店、商売を試す場	○	○	
	まちをフィールドにした大学等との連携事業		○	
	若者の居場所、挑戦の場づくり		○	
まちの魅力と関心の向上	妙高市の宝物の発掘（歴史、自然、料理、特産品、観光資源など）	○	○	○
	観光客向けの企画（観光に関わるイベントや情報提供など）		○	○
	新施設での地域商店等の広告情報の提供		○	
	施設周辺での妙高体験イベント		○	
	新施設周辺のマップやパンフレットの作成		○	○
他の施設や団体との連携	妙高の特産品展示		○	○
	新施設での地域団体等の紹介コーナーづくり	○	○	
	防災を考えるイベント		○	○
	妙高全域の施設（斐太歴史民俗資料館やビジターセンター、はね馬アリーナなど）と連携した講演会や情報提供など		○	○
広域展開	市内のいろいろな場所や施設への出張図書館イベント			○
	まちじゅう図書館（まちのお店などにおすすめの本を設置する仕組み）		○	

3 わたしたちの提言

※例示であり、この内容は第5回ワークショップで話し合います。

わたしたちの提言

妙高市で初めて整備される「新図書館等複合施設」は、妙高市民の暮らしやすさの向上と、中心拠点の活力向上を目指しています。

わたしたちは、令和6年9月から5回のワークショップに参加する中で、令和7年秋にオープンする新図書館等複合施設の活用について、先進事例を学び、自ら考え、参加者同士の意見交換を重ねてきました。

その中で、わたしたち一人一人が積極的に施設を利用することを基本とし、さまざまな意見を持っている市民が協力することや、周辺地域や関連団体などと連携することの必要性に加え、市民や周辺地域、関連団体などと行政が共に作り上げていく「共創」の施設運営と活用が重要であることを再認識しました。

このため、わたしたち市民と新図書館等複合施設は、施設の利用促進と活用により、妙高市での暮らしやすさを享受する共に、施設周辺の中心拠点の活力向上への波及効果をもたらし、持続可能な妙高市の発展に共に参画・協働していきます。

〇市民みんなで、施設を愛し、施設と機能を積極的に利用します。

〇市民みんなで、施設で学び、考え、協働して事業を進めます。

〇市民みんなで、中心拠点と市全体への興味と関心を高めます。

〇市民みんなで、参画、協力し、共創による施設の活用を目指します。

〇市民みんなが、関わり、つながるネットワークづくりを進めます。

資料編

- 新図書館等複合施設の活用をみんなで考えるワークショップ記録（全5回）
- 新図書館等複合施設の活用に関するアンケート集計
- 高校生・若者の居場所づくりに関するシールアンケート実施報告
- 施設図面

発行：令和７年（2025年）　　月

編集：株式会社未来の図書館研究所

（「新図書館等複合施設の活用アクションプラン策定等業務委託」受託事業者）